

小学校第5学年 図画工作



自分たちの作品の、造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深める。

小学校第5学年 図画工作 「今、私の心は…」

■ 題材の目標

今、自分が心に感じていることから表したいことを見付け、表し方を工夫して表すとともに、自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深める。

■ 題材の概要

今の自分の心を、絵の具、ポスターカラー、パスなどを使って絵に表す題材である。自分を見つめ、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じを考えながら表すとともに、自分の表し方の変化を振り返ったり、作品の意図や特徴などについて話し合ったりする。

■ 題材の指導計画（4時間）

第1, 2時

- ・形や色などが感情と結びついていることを捉える。
- ・「今の私の心」に合った形や色などを見付けながら絵に表す。

第3, 4時

- ・主題をどのように表すかについて考え、表現方法や材料や用具を選んだり、組合せたりして、表し方を工夫していく。

- ・自分の作品の表し方の変化を捉える。
- ・友人と互いの作品を鑑賞し合い、自分の見方や感じ方を深める。

■ 学習活動の概要

教師が提示した形や色からどのような感情が読み取れるかについて話し合い、今の自分の心を表すことに意欲をもつ。自分自身の心と向き合いながら、どのような気持ちを表すのかを考え、形や色などを工夫して表す。

前時までに表した作品を友人と見合い、どのような気持ちを表そうとしたのかについて話し合う。友人の表現方法や材料の使い方も取り入れながら、自分の心を見つめ、さらに表し方を工夫して表す。

自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の、造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったことや考えたことを交流する。

■ 資質・能力が育成され「深い学び」が実現している子供の姿（第4時）

【学習活動の場面】

自分たちの作品を鑑賞する場面において、自分の表し方の変化を振り返ったり、作品の意図や特徴などについて話し合ったりした。

【子供の「深い学び」の姿】

第2時に撮影した画像と、作品を比べて鑑賞し、表し方の変化について捉えていった。

教師「前の時間の作品と比べて、表し方がどのように変化していったのか、形や色などをもとに見ましょう」

A「心の奥を表したかったから、絵の具の濃さを変えたり色を重ねたりして、奥行きを感じるようにしたよ」

B「Aさんの作品は、途中は全体が鮮やかな色だったけど、鈍い色も重ねたことで、印象が変わったね」

A「描きながら、自分の心がこんなに奥深かったんだと気付いたよ」

クラウド上に集められた作品の画像を大型提示装置で見合って、主題や、表し方の工夫について話し合った。

教師「友達がどんなことを表したかったのか、形や色、奥行きなどをもとに、想像しながら見ましょう」

C「この絵は、下の方は鋭い形で、上の方はふわっとしている形だ。Dさんは、心には、いろいろな面があることを表したかったのかな」

D「私は、ギザギザした線と青色で悲しい気持ちを、ふわっとした形と明るい色で楽しい気持ちを表しました」

E「本当だ。かすれた線からも、心が伝わってくるよ。絵の具にあまり水を加えないでかいたんだね」

F「目に見えない心を、表すことができるってすごいな」

【当該指導での「深い学び」】

作品を比べて見たり、形や色などの造形的な特徴を根拠に話し合ったりして、自分のイメージをもちながら、造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化を感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めることができた。

■ 指導上の工夫とICTの利活用

① 形や色などの造形的な特徴を視点に、自分たちの作品の表し方の変化を振り返るよう問いかける。

* 前時に撮影した作品の画像と、本時にさらに表していった作品を見比べることで、どのように表し方が変化していったのか、感じ取ったり考えたりすることができた。

② 形や色などの造形的な特徴と、自分のイメージとの関わりについて考えられるよう問いかける。

* 撮影した画像をクラウドで集約し、大型提示装置で表示して皆で見合うことで、自分の表現で大切にしている主題は何か、それはどの形や色などによるものかななどについて話し合うことができた。



【活用したソフトや機能】
カメラ機能
学習支援ソフト

学習指導要領や解説との関連

小学校学習指導要領 第2章 第7節 図画工作

第2 各学年の目標及び内容【第5学年及び第6学年】 2内容

A表現

- (1)イ 絵や立体，工作に表す活動を通して，感じたこと，想像したこと，見たこと伝え合いたいことから，表したいことを見付けることや，形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じ，用途などを考えながら，どのように主題を表すかについて考えること。
- (2)イ 絵や立体，工作に表す活動を通して，表現方法に応じて材料や用具を活用するとともに，前学年までの材料や用具などについての経験や技能を総合的に生かしたり，表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして，表したいことに合わせて表し方を工夫して表すこと。

B鑑賞

- (1)ア 親しみのある作品などを鑑賞する活動を通して，自分たちの作品，我が国や諸外国の親しみのある美術作品，生活の中の造形などの造形的なよさや美しさ，表現の意図や特徴，表し方の変化などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を深めること。

〔共通事項〕

- (1)ア 自分の感覚や行為を通して，形や色などの造形的な特徴を理解すること。
イ 形や色などの造形的な特徴を基に，自分のイメージをもつこと。